



小学生の部で初優勝を飾った佐賀県チームの選手たち
＝大阪市のおおきにアリーナ舞州

佐賀県選抜 初の日本一

小学生の部

剣道

都道府県対抗少年

第13回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会は16日、大阪市のおおきにアリーナ舞州であり、小学生の部で佐賀県選抜が初の頂点に立った。県選抜は激戦となった予選リーグで2勝を挙げ、組1位で突破。決勝トーナメントでは愛知や福岡など強豪を次々と撃破した。決勝では昨年敗れた大阪Aを3-2で下し雪辱を果たした。中学生の佐賀県選抜はベスト8だった。

【小学生の部】予選リーグ 佐賀3-2群馬、佐賀3-1大阪B
▽順位 ①佐賀②勝③決勝トーナメントへ
▽決勝トーナメント1回戦 佐賀2-0愛知▽同準々決勝 佐賀2-2福岡(代表者戦)▽同準決勝 佐賀1-0大分
▽決勝
佐賀 3-2 大阪A
福岡 1-0 和田
小川 1-0 金丸
槽橋 1-0 三宅
古川 1-0 石塚
○川内 1-0 西半
【中学生の部】予選リーグ 佐賀1-0埼玉佐賀2-2奈良(本数勝ち)▽順位 ①佐賀②勝③決勝トーナメントへ
▽決勝トーナメント1回戦 佐賀1-0福岡▽同準々決勝 佐賀2-0愛知▽同準決勝 佐賀1-0大分

賀4-0福岡▽同準々決勝 福岡4-0佐賀

代表者戦制し弾み

○佐賀県選抜が小学生の部で初優勝を飾った。メンバーは全員6年生で、2023年の国民スポーツ大会佐賀大会を見据えた強化選手たち。江島良介監督は「苦しい戦いもうまく乗り切ってくれた」とねぎらった。準々決勝の福岡戦は2-1となり代表者戦に。副将の古川雄大は「みんなの思いの分まで」と気合を入れ直して挑んだ。過去の対戦から相手の技を警戒。予想通りにコテを打ってきた瞬間にメンを決めた。チームは勢いに乗り、過去最多の優勝を誇る大阪Aとの決勝も大将戦で破った。選手たちは毎月2、3度、各道場から集まり、稽古をともに重ねて団結も深めてきた。この日は誰かが負けても、誰かが取り返して頂点まで駆け上がった。殊勲の古川は「チームワークで勝てたから120点」と声を弾ませた。(西浦福紗)